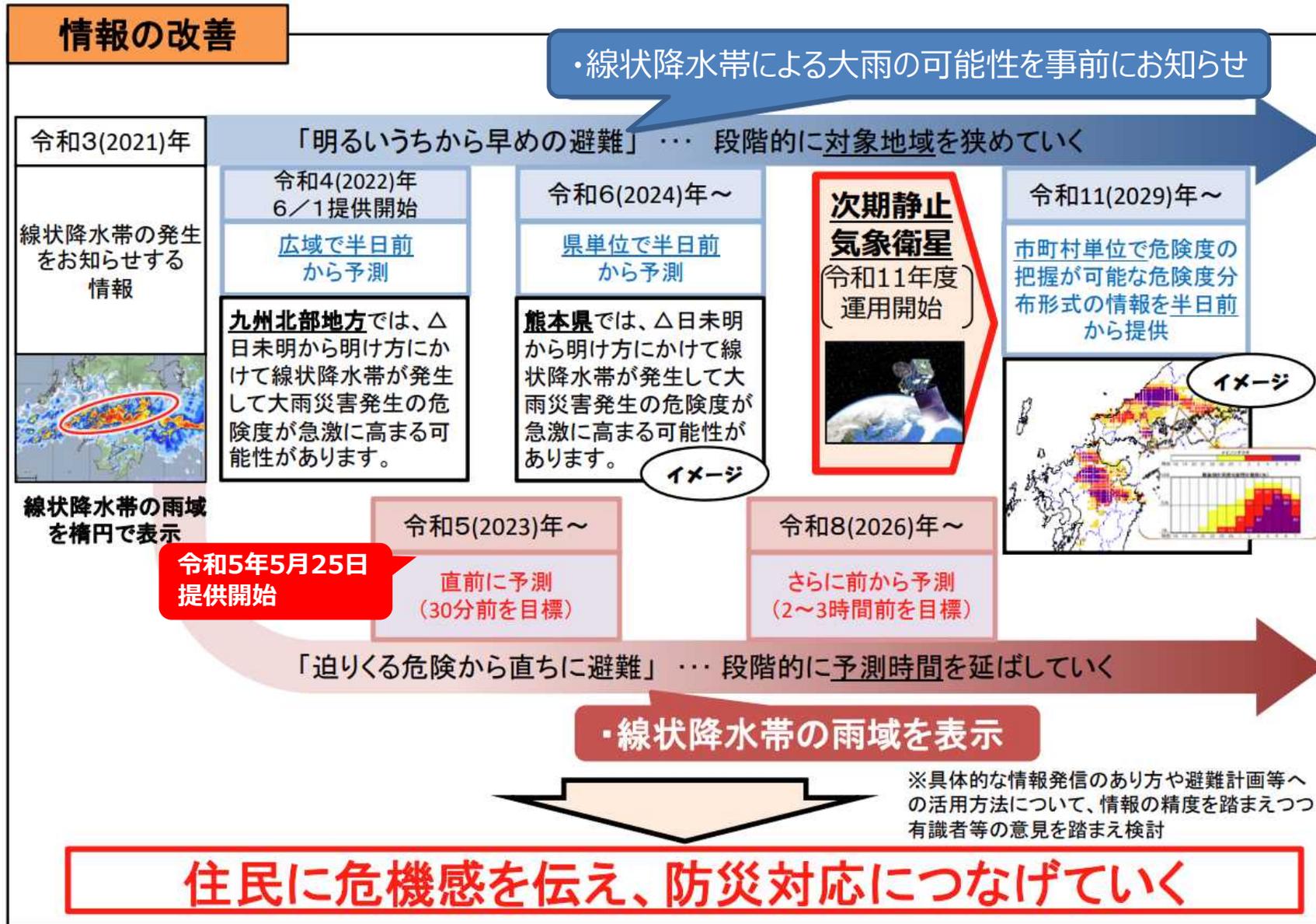


令和5年7月26日 第9回木曾川下流水防災協議会

顕著な大雨に関する気象情報の改善

名古屋地方気象台、岐阜地方気象台、津地方気象台

「顕著な大雨に関する気象情報」を、より早く、提供します



大雨時に段階的に発表される防災気象情報

気象庁は様々な防災気象情報を発表しており、「線状降水帯」に関する情報は、この中のひとつ。この情報だけに着目するのではなく、段階的に発表される防災気象情報全体を活用いただくことが重要。

先行時間

1週間前

5日前

3日前

12時間前

3時間前

1時間前

随時に発表

令和5年5月25日～

「線状降水帯による大雨の危機感」

→これまでより最大30分程度早く伝える

記録的短時間
大雨情報

顕著な大雨に関する
気象情報

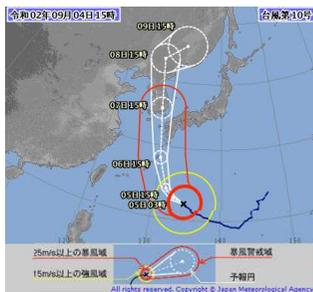
土砂災害警戒情報

指定河川洪水予報

気象注意報・警報・特別警報

(大雨・暴風等に関する) ○○県気象情報

台風情報 (進路・強度予報)



大雨による高い潮位に関する全観測値情報 第1号
平成27年10月23日11時00分 気象庁地球環境・海洋部発表

【要出】
10月23日の満月の前後は大潮の時期にあたり、満潮の時間帯を中心に潮位が高くなります。東北地方から関東地方にかけての太平洋沿岸及び西日本の沿岸の一部では、海岸や河口付近の低地で浸水や枯水のおそれがあります。

【注】
潮から引けては海面上昇風浪等の影響で、平常時の潮位が低潮で最も高くなる場合があります。また、10月23日の満月の前後は大潮の時期にあたり、潮位が高くなる場合があります。また、10月23日の満月の前後は大潮の時期にあたり、潮位が高くなる場合があります。



大雨による顕著な大雨に関する気象情報

大雨による顕著な大雨に関する気象情報は、大雨による顕著な大雨に関する気象情報です。大雨による顕著な大雨に関する気象情報は、大雨による顕著な大雨に関する気象情報です。

令和4年6月1日～

「線状降水帯による大雨の可能性」

→ 半日程度前から「気象情報」のなかで呼びかけ

週間天気予報・天気予報

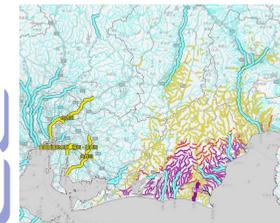
早期注意情報 (警報級の可能性)

定期的に発表

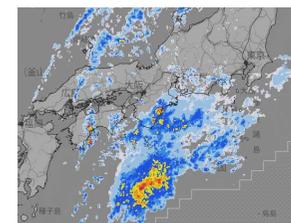
降水帯発生地の早期注意情報(警報級の可能性)

降水帯発生地では、6日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性があります。

降水帯発生地	6日	7日	8日	9日	10日
関東	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨
中部	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨
近畿	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨
中国	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨
四国	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨
九州	大雨	大雨	大雨	大雨	大雨



降水短時間予報



ナウキャスト
(降水・雷・雹)

キキクル (土砂災害・浸水害・洪水害)

顕著な大雨に関する気象情報の新運用におけるHP表示

気象庁HPのリアルタイムコンテンツの表示

- 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表条件に達した地域を地図上で大まかに把握できるように、気象庁HPの「雨雲の動き」、「今後の雨」の地図上に赤楕円で、予測の段階から表示する。
- 楕円はあくまで線状降水帯の雨域を大まかに示したものであり、その外側の地域でも大雨による災害発生の危険度が急激に高まっているおそれがあることに留意が必要。

